

第37回
ジャパンウィーク® 2012
スペイン・バレンシア

JAPAN WEEK



[開催期間] 2012年11月24日(土)~11月29日(木)
[開催地] スペイン・バレンシア

The 37th Japan Week Spain Valencia 2012
Period of The Event Nov.24 (Sat) -Nov.29 (Thu) ,2012,6days

VLC VALENCIA
TOURISM



AJUNTAMENT DE VALENCIA

 need Spain
* SPAIN
スペイン政府観光局
www.spain.info



ご挨拶

地中海に面した温暖な気候のバレンシア市は、マドリード、バルセロナに次ぐスペイン第3の都市である。近年には、F1 ヨーロッパグランプリ、アメリカ杯ヨットレース等国際スポーツイベントを多数手掛けて注目されている。そのバレンシア市において2012年11月24日（土）から11月29日（木）までの6日間にわたり「第37回ジャパンウィーク® 2012年スペイン・バレンシア」が開催された。さまざまな文化活動を通して日本の素顔を紹介する市民レベルでの国際文化交流を行うこの事業に、日本全国より45団体・941名におよぶ方々がバレンシア市を訪れた。またスペイン側からも12団体・

67名の参加をいただいた。現地参加型の「双方向の交流」（日本側の参加者だけでなく、スペイン側からも参加いただき「交流」する）を大きなテーマとして、両国民同士のきずなを深めた。オープニングフェスティバル、野外公演、舞台公演、展示・実演、武道大会そしてさまざまな訪問交流プログラムが6日間にわたり行われ、バレンシア市民はじめスペイン国民が多数来場し、大盛況であった。ジャパンウィーク®は感動・かけがえのない体験・草の根交流の6日間であった。

イベント概要

- 開催地** スペイン・バレンシア市
- 開催期間** 2012年11月24日（土）～11月29日（木） 6日間
- 開催規模** 日本側参加者 941人 スペイン側参加者 67人 見学者約 23,250人
- 主催** 公益財団法人国際親善協会、バレンシア市
- 後援** 在スペイン日本国大使館、在バルセロナ日本国総領事館、経済産業省、国土交通省、文部科学省、スペイン政府観光局、バレンシア市観光局、日本政府観光局（JNTO）、独立行政法人国際交流基金、日本貿易振興機構（ジェトロ）、財団法人自治体国際化協会、財団法人地域伝統芸能活用センター、社団法人日本海外協会
- 助成** 公益財団法人双日国際交流財団
- 協賛** 日本航空株式会社、日本興亜損害保険株式会社、株式会社みずほコーポレート銀行、西日本旅客鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社日本旅行
- 目的** 「ジャパンウィーク®」は、日本の生活文化、芸能、美術、音楽、ファッション、スポーツ、経済等を通じて日本を紹介するとともに、開催地住民も参加し、相互理解・友好親善を図る市民レベルの国際文化交流事業です。この「ジャパンウィーク®」は、各会場での公演、展示、実演などによって構成されていますが、一方通行の文化紹介にとどまることのないよう、開催地の人々の参加を促し、心と心がふれあう交流を実現できるワークショップ等のプログラムづくりにも力を入れている点にその特徴があります。

埼玉県	剣伎衆かむみ featuring 小林末都/殺陣・ピアノ 長沼静きもの学院 熊谷校/着物ショー	大阪府	ケリメ オリエンタル ベリーダンス スクール/ベリーダンス 林家 染太/落語
千葉県	千葉伝統郷土料理研究会/太巻き寿司		NPO 法人 国際芸術家協会/書道・彫金
東京都	全日本婚礼美容家協会/婚礼衣装 ムラタダンススタジオ/バレエ 玉井京子/現代アート	兵庫県	彩華会/水墨画・洋画・工芸 宝塚茶道同好会/茶道
	野畑直子/日本画 赤坂なでしこ会 /木目込人形 早稲田大学書道会/書道 株式会社アートクロス/美術品展示 ブランドゥ・ジャパン海外セミナー/見学	奈良県	一般財団法人 奈良市総合財団 武道グループ/武道
神奈川県	横浜藤本会 (A 班・B 班) /三味線 コールよこすか/合唱 SHUHALLY /茶道	和歌山県	スタジオ ぽこ・あ・ぽこ/和風タップダンス 森久美子フラメンコ舞踊団/フラメンコ
富山県	瀬尾学園 総合カレッジ SEO /料理・華道・きもの着付・日本舞踊・琴	島根県	有福神楽保持者会/神楽
長野県	和太鼓 アンサンブル TOKARA /和太鼓	福岡県	九州茶道文化交流協会/茶道 福岡スペイン友好協会/見学 九州日旅連/見学
静岡県	浜松・花蝶ちゃん/ちんどん 煎茶道静風流/茶道	鹿児島県	劇団 夢飛行プロジェクト/舞踊劇
愛知県	師勝太鼓「鼓つつ」/和太鼓 太鼓衆 翔鼓/和太鼓 箏曲寿都音会とギタートリオ ドルチェ/箏・ギター 愛知淑徳大学ウィンドオーケストラ/吹奏楽 金城学院大学書道部/書道パフォーマンス 草木染工房しかり/染物	沖縄県	八重山古典音楽研究会/三線・八重山民謡
三重県	手織り佐賀錦/織物 三重県/三重県 PR 国立大学法人 三重大学/環境活動展示・折り紙 まつさかチャレンジドプレイス 希望の園/美術	スペイン	Conservatorio Profesional de Danza /ダンス Conservatorio de Musica-Kei Hikichi y Francisco Lluch Murillo /ピアノ・コントラバス European Bugei Society /武道 Federación de Judo y D. A. de la Comunidad Valenciana /柔道・合気道 Federación de Karate de la Comunidad Valenciana y D. A. /空手・古武道 European Bugei Society <SUMIE> /墨絵 Origami Siphon Mabona /折紙 Ayako Funato y Takashi Matsuo /陶芸 KAKEJIKU SAKURA (Rieko Mikami) /掛軸 Escuela Jardinería y Ikebana /いけばな 在スペイン日本国大使館・在バルセロナ日本国総領事館、日本政府観光局 (JNTO) /日本 PR Kiwa Suzuki /茶道
京都府	京小町踊り子隊/創作舞踊		合計 57 団体 1,008 名 (うちスペイン側 12 団体 67 名)

日本側	
実行委員長	愛知 和男 元衆議院議員/公益財団法人国際親善協会 会長
名誉顧問	佐藤 悟 在スペイン日本国大使館 特命全権大使
名誉顧問	淵上 隆 在バルセロナ日本国総領事館 総領事
理事	木村 陽子 財団法人自治体国際化協会 理事長/公益財団法人国際親善協会 評議員
理事	今村 忠雄 社団法人日本海外協会 会長/公益財団法人国際親善協会 評議員
理事	真鍋 精志 西日本旅客鉄道株式会社/代表取締役社長兼執行役員
理事	二宮 雅也 日本興亜損害保険株式会社 取締役社長/公益財団法人国際親善協会 理事
理事	武井 真剛 日本航空株式会社 本店国際販売部部長/公益財団法人国際親善協会 理事
理事	原口 宰 東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役
理事	丸尾 和明 株式会社日本旅行 代表取締役社長/公益財団法人国際親善協会 理事
事務局長	坂牛 研一 公益財団法人国際親善協会 常務理事

(順不同)

スペイン側	
実行委員長	Rita Barberá (リタ・バーバラ) バレンシア市長
理事	Alfonso Grau (アルフォンソ・グラウ) バレンシア副市長
理事	Jose Salinas (ホセ・サリナス) バレンシア市観光局長
理事	Lola Johnson (ロラ・ジョンソン) バレンシア地方観光文化大臣
理事	Ramon Maria Moreno (ラモン・マリア・モレノ) カサ・アジア常務理事
理事	Antonio Garrigues (アントニオ・ガリーガス) 西日財団理事

1. ジャパンウィーク® 運営組織について

当事業は日本・スペイン両国に各々実行委員会を組織し、日本側は愛知和男公益財団法人国際親善協会会長が実行委員長を務め、スペイン側はリタ・バーバラ バレンシア市長を実行委員長とし、両国事務局互いの協力のもと、開催会場・施設の決定や告知PR活動・イベントの取り纏めなどを推し進めた。特に開催会場・施設については各実施予定プログラムの主旨をバレンシア市に理解していただき、主なイベント会場を市の中心部にご用意頂いた。

日本より都合5回に亘る現地打合せ、電話および電子メールでの情報交換・諸々の折衝を行い相互の協力体制を着々と築き上げ成功へのステップを確実なものにして行った。

日本側では2011年の夏より全国に招致活動・告知活動を開始し、並行して関係資料の作成・説明会の実施などを行い、参加団体応募の後は各団体と参加プログラム、荷物の輸送の打合せ、各公式行事やイベントプログラムのアレンジなど数多くの業務をこなしてきた。



2. 広報・告知について

現地側広報・告知に関しては、バレンシア市、そしてコーディネーターにご協力いただいたおかげで期待通りの観客数であった。下記が関係各機関にご協力いただいた広報・告知活動である。

1 メディアでのプロモーション

ウェブサイト、新聞を中心としたPR展開を実施していただいた。

① バレンシア市のウェブサイト

バレンシア市の独自のウェブサイトを作成して、PRいただいた。

② 雑誌、新聞

ジャパンウィーク期間前の11月初旬から新聞「Hello Valencia」「Las Provincias」「Levante EMV」「La Razón Valencia」には数日おきにイベントの記事を掲載していただいた。

2 PRツール作成およびその配布

下記は早いもので9月中旬からバレンシア市内にて展開された。

- ① リーフレット 5,000枚
- ② イベントプログラム (簡易リーフレット) 5,000部
- ③ 街中での告知用巨大ポスター 180枚
- ④ バス2台 (ラッピング広告)
- ⑤ 紙製サンバイザー 3,000個



3. 各イベントプログラム

ジャパンウィーク®の大きなテーマは「双方向の交流」であるが、日本側のみの参加だけでなく舞台公演、展示・実演についてスペイン側からの団体にも参加していただき、出演者、展示者間の交流が深まるようイベント作りをした。

イベントは11月24日(土)の11:00よりパトリアルカ広場にてオープニングフェスティバルが開催されジャパンウィーク®の幕があけた。その後、パラシオ デラ エクスポジションでのオープニングレセプション、パラウ デラ ムジカでの舞台公演と続いた。舞台公演は29日(金)まで毎日開催された。展示・実演は25日(日)のリボンカッピングセレモニーに始まり、29日(木)まで実施された。交流プログラムの学校訪問については13団体、老人ホームについては1団体が参加し、その他のテーマ別交流プログラムには7団体が参加し、各団体ともに肌と肌をふれあう心のこもった草の根交流に大感激していた。

毎年参加いただいている西日本友好親善訪問団は、交流会イベントおよびバレンシア ランチおよびナイトにて大いに親善交流の輪を広げて貰った。



4. 在スペイン日本国大使館・在バルセロナ日本国総領事館のご協力とボランティアの活躍

特に今回のジャパンウィーク®が大盛況に終わることができたのは一重に公式プログラムにご臨席をいただいた在スペイン日本国大使館の佐藤特命全権大使、在バルセロナ日本国総領事館の淵上総領事をはじめ大使館、総領事館の皆様のご協力による賜物である。また、今回も数多くのボランティアの方々に協力して頂いた。ボランティ

アについては、バレンシア市在住のスペイン人学生、日本人留学生、在留邦人など幅広い方々にご協力いただいた。ジャパンウィーク®スタッフの一員として朝早くから夜遅くまで本当に頑張っていた。ボランティアの方々の協力無くして、ジャパンウィーク®の成功はありえなかったと言っても過言ではない。

5. スタッフおよびご協力いただいた方々

バレンシアでのジャパンウィーク®開催が決定してからイベントが終了するまで、下記の方々は、実務上のきめこまやかな打ち合わせと準備で大変ご協力いただき、今回のジャパンウィーク®を成功へと導いた。

コーディネーター

中尾 有紀

バレンシア市

Ms. Patricia Iserte (市長室国際担当特別アドバイザー)

Ms. Maria José Vivó (市長室国際担当)

バレンシア市観光局

Mr. Miguel Ángel Pérez (広報マネージャー)

スペイン政府観光局

洞澤 徹 (マーケティング・マネージャー)



京都外国語大学スペイン語学科

坂東 省次 (学科長 教授)

アシスタントスタッフ

Mr. Jonaes Estelles Gilabert

Mr. Ausias Estelles Gilabert

Ms. Elia Estelles Gilabert

木村 真理子

Mr. Bernardo Valdivieso Marset





オープニングフェスティバル



会場となったパトリアルカ広場は、特設ステージの周りを地元の飲食スタンドブースに取り囲まれ、オープニングフェスティバル見学者およびスタンド利用者で身動きもとれないほどの多くの市民で埋まった。

和太鼓アンサンブル TOKARA の太鼓によってイベントの開始が告げられた。そして両国の代表がステージに登場し、リタ・バーバラ バレンシア市長、愛知会長の開会の挨拶、佐藤大使のスピーチへと進んだ。

その後は、各グループの演奏とパフォーマンスとなった。和太鼓アンサンブル TOKARA の力強い和太鼓、京小町踊り子隊の華やかな和風創作ダンス、浜松・花蝶ちゃんの見ていて楽しくなるちんどん、森久美子フラメンコ舞踊団の華麗なる踊り、金城学院大学書道部の一緒にリズムをとりたくなる書道パフォーマンス、太鼓衆 翔鼓のリズムが躍動する和太鼓、長沼静きもの学院熊谷校の着物で和の美を楽しく披露したショーと続いた。途中で、現地バレンシア側のダンス養成学院 (Conservatorio Profesional de Danza) のさまざまなダンスも披露された。最後は、師勝太鼓「鼓つつ」の独特の雰囲気を出しながらの和太鼓、劇団 夢飛行プロジェクトの日本紹介を交えた舞踏劇にてオープニングフェスティバルは幕を閉じた。多くの出演者が登場したが、観客は大きな声援と拍手で最後までステージを楽しんだ。

日時 2012年11月24日(土) 11:00～14:00

場所 パトリアルカ広場 (PL. COLEGIO DEL PATRIARCA)

観客数 約800名(屋外)

日本側 愛知和男会長、佐藤悟在スペイン日本国大使館特命全権大使、二宮雅也理事、武井真剛理事、丸尾和明理事、坂牛研一常務理事

スペイン側 Ms. Rita Barberá 市長、Mr. Alfonso Grau 副市長、Ms. Mayren Beneyto 文化担当市議員兼パラウ デ ラ ムジカ館長、Ms. Beatriz Simón 技術革新、雇用担当市議員、Mr. Emilio del Toro 教育担当市議員、市議員等

参加者 和太鼓 アンサンブル TOKARA、京小町踊り子隊、浜松・花蝶ちゃん、森久美子フラメンコ舞踊団、金城学院大学書道部、太鼓衆 翔鼓、長沼静きもの学院熊谷校、Conservatorio Profesional de Danza、劇団 夢飛行プロジェクト、師勝太鼓「鼓つつ」



オープニングレセプション

日時 2012年11月24日(土) 17:30~19:30

場所 パラシオ デラ エクスポシション
(PALACIO DE LA EXPOSICIÓN)

参加団体 29団体

日本側 愛知和男会長、佐藤悟在スペイン日本国大使館特命全権大使、
二宮雅也理事、武井真剛理事、丸尾和明理事、坂牛研一常務理事

スペイン側 Ms. Rita Barberá 市長、Mr. Alfonso Grau 副市長、
Mr. Emilio del Toro 教育担当市議員、
Ms. Maria Jesús Puchalt 通商担当市議員、
Ms. Lourdes Bernal 環境担当市議員、市議員等

レセプションの会場入口では、スペイン側の伝統的な民族音楽の生演奏と踊りで参加者を歓迎していただいた。レセプションはリタ・バーバラバレンシア市長の歓迎の挨拶でスタートし、その後愛知会長、佐藤大使のスピーチと続いた。日本・スペイン双方のスピーチが参加者の気持ちを厳粛なものにしてくれた。スピーチ終了後にはバレンシア市長、愛知会長によるプレゼント交換が行われた。そしてバレンシア市長、佐藤大使、愛知会長より参加証書が各出席団体代表に手渡された。引き続き、1階のレセプション会場に移動し、用意いただいた飲み物やパーティー料理を楽しみ、両国の実行委員会と歓談をした。思い出に残るレセプションのひとつであった。



表敬訪問

日時 2012年11月23日(金) 11:00~11:30

場所 バレンシア市役所 AJUNTAMENT DE VALÈNCIA
鏡の間 (Salon de Cristal)

スペイン側 Ms. Patricia Iserte 市長室国際担当特別アドバイザー

福岡スペイン友好協会の皆様は、Ms. Patricia Iserte 市長室国際担当特別アドバイザーと歓談を楽しんだ。そしてお互いにプレゼント交換を行った。その後、市の職員によってバレンシアの市庁舎内の博物館に案内されて感慨深く見入っていた。



日時 11月27日(火) 11:00~11:30

場所 バレンシア市役所 AJUNTAMENT DE VALÈNCIA
鏡の間 (Salon de Cristal)

スペイン側 Ms. Rita Barberá 市長、Mr. Alfonso Grau 副市長、Mr. Emilio del Toro 教育担当市議員、Ms. Maria Jesús Puchalt 通商担当市議員、Mr. Ramón Isidro Puchalt 市議員、他、市議員等

日本からの5団体の皆様がお待ちになる中、リタ・バーバラ市長および市役所幹部の皆様が入場され、表敬訪問がスタートした。市長から歓迎のお言葉をいただいた後、各団体代表より自己紹介が行われ、バレンシア市側の皆様は興味深く話を聞いていた。その後、剣伎衆かむみ featuring 小林未郁による殺陣のパフォーマンスが市長の目の前にて行われ、市長はじめバレンシア市側の皆様はその迫力あるパフォーマンスに釘づけとなった。そして記念写真を撮り、バレンシア市側が用意いただいた軽食と飲み物を味わいながら歓談を楽しんだ。



舞台公演



場 所 パラウ デラ ムジカ イトゥルビ劇場 (PALAU DE LA MÚSICA-Sala Iturbi)



今回の舞台公演は、パラウ デラ ムジカのイトゥルビ劇場にて11月24日から29日まで行われた。「舞台公演」のチケット予約および受け渡し業務はバレンシア市が10月末からスタートしていただき、本番前に万全の準備が整った。また、各参加団体の演技終了後の感動と感激に満ちた表情を間近に感じ、このイベントの成功を劇場公演で確信した。観客の反応も大喝采の拍手の連続、ときにはスタンディングオベーションもあり、公演は大成功のうちに幕を下ろした。観客は十分に楽しみ大満足だったと感じた。バレンシアの皆様へ感謝の気持ちでいっぱいである。

日 時 11月24日(土) 20:00~22:55

観客数 約700名

参加者 和太鼓アンサンブル TOKARA、浜松・花蝶ちゃん、
瀬尾学園総合カレッジ SEO< 琴・日本舞踊 >、
長沼静きもの学院熊谷校、金城学院大学書道部、三重県(伊賀忍者)

劇場公演の初日。和太鼓アンサンブル TOKARA の力強い、技量あふれる和太鼓演奏で初日の幕を開ける。続いて浜松・花蝶ちゃんの楽しいちンドンパフォーマンス、続いて瀬尾学園総合カレッジ SEO の箏の演奏と日本舞踊。そして長沼静きもの学院の地元の若い女性や子供をモデルに起用しての着物ショーに観客席からは大きな拍手が送られていた。休憩を挟んで、金城学院大学書道部のはつらつとした書道パフォーマンス。三重県の見事な伊賀忍者芸が披露された。そして最後が、再び和太鼓アンサンブル TOKARA のパワフルな演奏、スタンディングオベーションの中、初日の幕が降りる。心配していた入場者も、予定していた席はほぼ満席となり、質の高い出演者で観客も大満足のすばらしい初日であった。また休憩時には、浜松・花蝶ちゃんの皆様が劇場のホワイエにてちンドンパフォーマンスを披露し、思いがけないサービスに出てきた観客も皆にっこり。浜松・花蝶ちゃんの皆様、ありがとうございました。

日 時 11月25日(日) 19:30~22:25

観客数 約750名

参加者 森久美子フラメンコ舞踊団、和太鼓アンサンブル TOKARA、
京小町踊り子隊、太鼓衆 翔鼓、有福神楽保持者会、横浜藤本会、
劇団 夢飛行プロジェクト

前日より観客が増え、1階は満席。森久美子フラメンコ舞踊団のフラメンコ舞踊と和太鼓アンサンブル TOKARA、現地側フラメンコギターと歌のコラボレーションで幕が開く。鍛え抜かれたフラメンコにて、観客の目と耳は舞台に釘付けにされていた。続いて京小町踊り子隊のテンポのある色彩豊かな群舞。そして太鼓衆 翔鼓のリズムあふれる和太鼓演奏と続き、大きな拍手が送られていた。後半は、有福神楽保持者会による神楽、初めて観るであろう大蛇4頭のスペクタクルな動きにやんやの喝采。続いて横浜藤本会の邦楽ならではの落ち着いた音色の三味線演奏。最後は、劇団 夢飛行プロジェクトの映像とパフォーマンスによる日本の伝統的精神文化の紹介で幕を降ろす。最後まで楽しんで出て来た観客の表情は満足感にあふれていた。



日 時 11月26日(月)
19:00～21:10
観客数 約800名
参加者 林家 染太、八重山古典音楽研究会、
スタジオぼこ・あ・ぼこ、
横浜藤本会、師勝太鼓「鼓っつ」

今日も前日より観客が増え、1階は満席、2階もほぼ満席の状態。前半は、林家染太のスペイン語による「紙切り」などの芸を織り込んだ落語。さすがにプロの噺家、観客の心をしっかりと掴みきっていた。続いて、八重山古典音楽研究会の琉球音楽、独特の旋律が心地よく観客もうっとり。後半は、スタジオぼこ・あ・ぼこの小気味よい和風タップダンス、横浜藤本会の三味線演奏の醍醐味、最後が師勝太鼓「鼓っつ」の息のあった和太鼓演奏で幕をおろす。観客の入りも日に日に増えて、会期の前半を終了することが出来た。

日 時 11月28日(水) 19:00～21:30

観客数 約1,200名

参加者 和太鼓アンサンブル TOKARA、European Bugei Society、
Conservatorio de Musica-Kei Hikichi y Francisco Lluch Murillo、
ムラタダンススタジオ、Conservatorio Profesional de Danza、
剣伎衆かむみ featuring 小林未郁

今日も1階席、2階席とも満席の状態。最初の演目は、和太鼓アンサンブル TOKARA の観客を魅了する和太鼓演奏。続いて地元 European Bugei Societ による武術の披露、そして同じく地元の音楽院から Kei Hikichi と Francisco Lluch Murillo によるピアノとコントラバスの質の高い演奏に盛んな拍手が送られていた。後半は、ムラタダンススタジオによる綿密に計画された美しい動きのクラシックバレエ、地元 Conservatorio Profesional de Danze のフラメンコと心地よく演出されたフォーメーションのコンテンポラリーダンス、そして最後が剣伎衆かむみ featuring 小林未郁の静寂の中からしんと心に訴える歌声とピアノ弾き語り、そして観客をとりこにするその殺陣のパフォーマンスで幕を降ろす。



日 時 11月27日(火) 19:00～21:50

観客数 約1,000名

参加者 箏曲寿都音会とギタートリオ ドルチェ、コールよこすか、
ケリメオリエンタルベリーダンススクール、
Conservatorio Profesional de Danza、
剣伎衆かむみ featuring 小林未郁、和太鼓アンサンブル TOKARA

今日も前日より観客が増え、1階席、2階席とも満席の状態。前半は、箏曲寿都音会とギタートリオドルチェの和洋調和のとれた箏とギター演奏、続いてコールよこすかによる合唱、指揮者の楽しいパフォーマンスとその美しい歌声に暖かい拍手が送られていた。前半最後は、ケリメ・オリエンタル ベリーダンススクールの妖艶なベリーダンスで前半を締めくくる。後半は、地元 Conservatorio Profesional de Danze による、見事なフラメンコとクラシックバレエ披露、続いて剣伎衆かむみ featuring 小林未郁、観客の心を掴んでしまう小林未郁の歌声、そして剣伎衆かむみのスベクトルあふれる殺陣のパフォーマンス。最後は、和太鼓アンサンブル TOKARA の力強くパーフェクトな和太鼓演奏で幕を降ろす。充実した演目内容に、観客の満足度も最高潮に感じられた。

日 時 11月29日(木) 19:00～21:20

観客数 約1,200名

参加者 愛知淑徳大学ウィンドオーケストラ、全日本婚礼美容家協会、
和太鼓アンサンブル TOKARA

今日も1階席、2階席とも満席の状態。前半は愛知淑徳大学ウィンドオーケストラによる吹奏楽演奏が披露された。地元の音楽院の皆様も多数加わり、当日の数時間のリハーサルにも関わらず本番は素晴らしい演奏を聴かせてくれた。後半は、全日本婚礼美容家協会による着物ファッションショー、モデルは全員地元の方で見事なその変身姿に本人たちも驚いた様子であった。フィナーレで艶やかな着物美人が勢揃い、大きな拍手が送られていた。そして最後は、何とんでもこの太鼓演奏、和太鼓アンサンブル TOKARA のゆるぎないパワフルな演奏で、ジャパンウィークを締めくくった。



和太鼓アンサンブル TOKARA



浜松・花蝶ちゃん



金城学院大学 書道部



長沼静きもの学院 熊谷校





太鼓衆 翔鼓



京小町踊り子隊



森久美子フラメンコ舞踊団



師勝太鼓「鼓っつ」



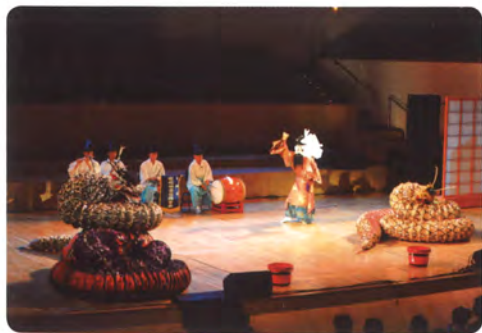
劇団 夢飛行プロジェクト



瀬尾学園 総合カレッジSEO <琴・日本舞踊>



有福神楽保持者会



横浜藤本会





スタジオ ぽこ・あ・ぽこ



八重山古典音楽研究会



林家 染太



剣伎衆かむる featuring 小林未郁



🌿 コールよこすか



🌿 箏曲寿都音会とギタートリオ ドルチェ



🌿 ケリメ オリエンタル
ベリーダンス スクール



🌿 ムラタダンススタジオ





全日本婚礼美容家協会



愛知淑徳大学ウィンドオーケストラ



三重県(伊賀忍者)



一般財団法人 奈良市総合財団 武道グループ



武道大会



日 時 11月25日(日) 11:00~14:00

場 所 バレンシア市ペッチナ体育館
(COMPLEJO DEPORTIVO CULTURAL PETXINA)

観 客 数 約1,200名

参 加 者 一般財団法人奈良市総合財団武道グループ、三重県(伊賀忍者)、
European Bugei Society、
Federación de Judo y D. A. de la Comunidad Valenciana、
Federación de Karate de la Comunidad Valenciana y D. A.

11時から、まず日本側演武が披露された。最初は一般財団法人奈良市総合財団武道グループによる弓道。肅々とした雰囲気の中で入場から始まる型は、観るものに日本武道の持つ精神性を否が応でも感じさせた。続いて長さ3.6mの槍を使った槍術と柔道の型の披露に観客は釘付けになった。そして最後が伊賀忍者による鍛え抜かれた忍者パフォーマンスに子供たちも大喜びであった。

引き続きバレンシア側の演武が披露された。弓道、空手、古武道、合気道等のさまざまな演武が披露された。また、子供柔道家の稽古には温かい声援と拍手が送られた。

日本側、バレンシア双方の演武披露の後は、会場の全床面を使ってのワークショップが行われた。全参加武道家と一般観客との交流体験は各所で盛り上がり、なかなか終わらない状況であった。そして最後は、全員整列しての「礼」のかけ声で終了した。

野外公演



場 所 パトリアルカ広場 (PL. COLEGIO DEL PATRIARCA)

日 時 2012年11月25日(日) 17:00～19:00

観客数 約800名(屋外)

参加者 一般財団法人奈良市総合財団武道グループ、
三重県(伊賀忍者)、European Bugei Society

夕方から夜にかけて武術や忍者といった両国による日本の武道が披露され、伝統文化あふれる素晴らしいステージであった。大変多くの市民の方が集まり、真剣にステージを見つめていた。



日 時 2012年11月26日(月) 17:00～19:30

観客数 約700名(屋外)

参加者 八重山古典音楽研究会、スタジオぼこ・あ・ぼこ、
ケリメオリエンタルベリーダンススクール、
和太鼓アンサンブル TOKARA

夕方はかなり冷え込んだにも関わらず、開始前から多くの市民が集まった。日本側参加者それぞれの躍動的な演目は会場を大いに盛り上げた。



日 時 2012年11月29日(木) 17:30～19:30

観客数 約700名(屋外)

参加者 剣伎衆かむみ featuring 小林未郁

野外公演の最終日は、剣伎衆かむみ featuring 小林未郁が、歌と殺陣のパフォーマンスを披露した。リハーサルを公開形式で行ったため本番前から身動きが取れないほど観客が集まった。澄み渡る歌声とステージいっぱいの迫力あるパフォーマンスは見に来られた市民を釘付けにした。パフォーマンス終了後、体験コーナーやトーク、写真撮影などが行われた。



野外宣伝パフォーマンス

浜松・花蝶ちゃんは11月24日と25日の2日間、バレンシア市内をちんどん演奏しながら練り歩き、ボランティアスタッフとともにジャパンウィーク®PRのサンバイザーやチラシを配り、イベントを大変盛り上げていただいた。25日の練り歩きではバレンシア市が交通規制を敷き、パトカーを配する対応をした。



展示・実演



日時 11月25日(日)～29日(木)

場所 パラウ デラ ムジカ (PALAU DE LA MÚSICA)

本年は、一般の展示・実演はパラウ デラ ムジカ、株式会社アートクロスの美術展はバレンシア市美術館と、2箇所の会場となった。一般の展示・実演会場のバレンシア市立の音楽堂、パラウ デラ ムジカは、バレンシア市内の旧河川であった、リオと呼ばれる公園に接している。初日の日曜日は、多くの市民が憩いの場所であるリオを訪れており、展示会場にも大変多くの方々が来られ、展示作品や実演を通じて、日本からの参加者との交流を楽しんでいた。舞台公演も同じ会場だったことから、劇場の出演者も展示会場に来られ、展示の出展者と交流する機会が得られたことも大変有意義なことであった。バレンシア市美術館では日本画、水墨画、洋画、書道、工芸におよぶ102点の作品が各カテゴリー別に展示され、バレンシア市民の皆様には日本美術の歴史、伝統、多様性を楽しんでいただいた。

リボンカッティングセレモニー

日時 11月25日(日) 11:00～11:30

場所 パラウ デラ ムジカ (PALAU DE LA MÚSICA)

観客数 約200名

日本側 愛知和男会長、淵上隆在バルセロナ日本国総領事館領事、武井真剛理事、丸尾和明理事、坂牛研一常務理事

スペイン側 Ms. Mayren Beneyto 文化担当市会議員兼パラウ デラ ムジカ館長

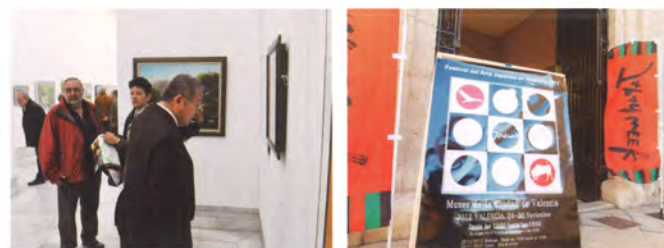
パラウ デラ ムジカの全面ガラス張りの明るいロビー内に、リボンカッティングセレモニーの会場を設けた。パラウ デラ ムジカ館長であるバレンシア市会議員、Ms. Mayren Beneyto がバレンシア市代表として、淵上隆 在バルセロナ日本国総領事館領事、愛知会長及び日本側の実行委員、展示・実演及び茶道で日本からご参加の皆様が出席して、リボンカッティングセレモニーが行われた。愛知会長、Ms. Mayren Beneyto、淵上総領事とスピーチが行われ、その後、展示・実演でご参加の各グループ名が読み上げられた。バレンシア市代表が少々遅れて、参加者の皆様をお待たせしたのも、スペインでの開催らしい思い出になった。



株式会社アートクロス

日時 2012年11月23日(金)～30日(金)(26日(月)は休館日)

場所 バレンシア市美術館
(Museo de la Ciudad)



バレンシア市美術館にて「Japan Art Festival in Valencia 2012」を開催した。102点の日本美術の作品は5部門に分かれて展示された。家族連れも含めて、大変多くの市民の方々にご来場いただき、特に11月25日の日曜日には、会場の奥を見渡すできないほどの盛況ぶりで市民の皆様には展示された多種多様の美術品を楽しんでいただいた。

手織り佐賀錦

佐賀錦の手織り生地、和装バックやイヤリングなどの作品展示に加えて、本年はブローチ作りの実演も行っており、多くの来場者が織物に直に触れて楽しんでいました。また手織りの実演には来場者が周りを取り囲んで生地制作過程に見入っていました。



彩華会

花、風景画、詩を表現した水墨画の展示及び水墨画の実演、皮工芸の展示及び実演に加えて、洋画の展示をしていただいた。来場者と作品を介して会話を交わしたり、実演では一緒に作品を作ることによって来場者との交流を楽しんでおられた。



草木染工房しかり

草木染めのタペストリーや掛け軸作品を展示し、原料の紹介をしていただいた。また、花や動物をモチーフにした型紙に草木染めの顔料を使って、型抜き染めの実演をしていただいた。開催期間中全日滞在され、実演を通して大勢の市民との交流にご尽力いただいた。



NPO 法人 国際芸術家協会

書の掛け軸作品5点、刀のつばや拵え（刀掛け）、西洋の祈りと題した「マリア像」と東洋の祈りと題した「仏像」の作品を展示していただいた。短冊に来場者の名前や言葉を書き書いていただく実演には長蛇の列が出来て、予想以上の早さで短冊が無くなる人気であった。



瀬尾学園 総合カレッジ SEO

いけ花・料理・琴・きもの着付の4部門の展示実演をしていた。いけ花は現地の花で生けた作品を展示、料理では寿司調理実演を行い、来場者は作品の美しさに足を止めていた。琴の展示では子供参加者による演奏も披露され、きもの着付では来場者が着物を着せてもらい記念撮影をするなど盛況であった。



早稲田大学書道会

期間後半からご参加いただき、書の掛け軸作品の展示と書道の実演をしていただいた。実演には例年の通り、大変多くの来場者が並び、障がい者施設より約70名が来場された際にも快く名前の書の実演に応じていただき、その交流の様子に心を打たれた。



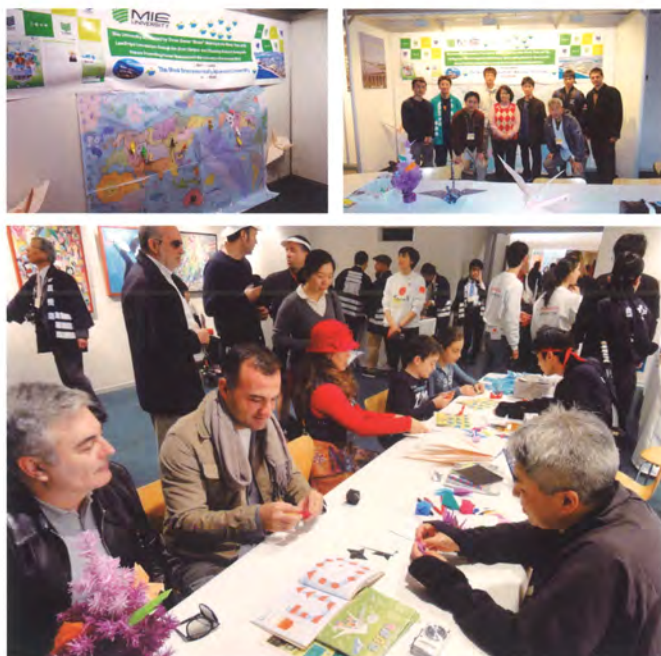
三重県

伊勢志摩等の観光案内パンフレットや地図等を配布いただき、プロジェクターで三重県の紹介DVDや伊賀忍者パフォーマンスの動画が流され、バレンシア市との姉妹都市の関係を紹介していただいた。



国立大学法人 三重大学

ポスターの展示、広報誌の配布、再生紙折り紙での実演で自然環境保全を重視した三重大学を紹介した。日本からの参加者は忍者の衣装で、三重県の観光と三重大学の紹介をしていただいた。来場者は忍者に扮した参加者と楽しい時間を過ごしていた。



まつさかチャレンジドプレイス 希望の園

色鮮やかな絵画作品11点の展示に来場者は作品の前で立ち止まり鑑賞していた。松坂市PRのシールなども配布され、バレンシア州と姉妹都市の三重県PRにもご尽力いただいた。展示後半には、訪問交流で制作した絵画が交流先の作品とともに飾られた。



玉井京子

ご出展いただいた作品は壁面作品3点と、床置き作品3点で、ご来場者の方々はカメラを床置き作品に近づけて撮影したり、壁面作品を間近に、あるいは遠ざかって長い時間見入っていたのが印象的であった。



✿ 野畑直子

絵画作品2点を展示していただいた。来場者は作品に顔を近づけて、個々の作品の詳細パーツを見やったり、少し離れて作品全体を長い時間眺めたり、写真を撮ったりして作品鑑賞を楽しんでいた。



✿ 赤坂なでしこ会

干支、舞子、雪だるま、ひな人形など16点の木目込み人形作品を展示いただいた。来場者は個々の作品に顔を近づけて、その美しさに見入ったり、レンズを近づけて写真を撮ったり、触れることが可能な鴨の人形作品を手にし、作品の完成度や素晴らしさに驚いていた。



✿ 千葉伝統郷土料理研究会

パンダ、蝶、犬、花、モザイク模様などの太巻き祭りずしの展示と調理過程を実演いただいた。出来上がった寿司は試食用にふるまわれ、手にした来場者は初めて目にする太巻き寿司に驚きの表情であった。



宝塚茶道同好会

日曜日ということも重なり6回の実演全ての回が立ち見も含め満席という盛況ぶりであった。『人と花と遊ぶ空間』をテーマに、日本古来の遊具と現地の花を織り交ぜた飾りつけで茶席を彩っていただいた。また、本年は日本から小学生女子の参加があり、お点前を披露していただいた。大変好評で、お出迎えやお見送りの際には多くの写真撮影希望があった。



煎茶道静風流

午後から6回の実演では各回とも、3名がステージに上がって、実際にお点前の体験をしていただいた。茶道といえば、外国ではお抹茶のイメージが強いが、より生活に身近な紅茶やコーヒーなどに例えてご説明いただいた煎茶は、スペインの皆様を理解を得て大変好評だった。家元には、生け花や着物といった日本文化全般にわたる質問にも丁寧な回答をいただき、来場者との充実した文化交流の1日となった。



九州茶道文化交流協会

午後から3回の実演は予約を超える来場者にもかかわらず、なるべく多くの方に茶道を体験していただきたいという家元の意向に沿って、予定以上のお茶とお菓子を提供していただいた。また、茶道の精神を表す『和敬清寂』という言葉を書いた掛け軸を飾り、来場者からの多くの質問にも一つ一つわかりやすく回答していた。



SHUHALLY

1日を通して3回の実演は、各回とも立ち見が出るほどの盛況であった。多くの方々に茶道を身近に感じていただくため、伝統を重んじつつも新しいものも取り入れていくスタイルで、茶器なども斬新なものが用意され、大変印象的であった。スペイン語でのご挨拶に始まり、お点前の後には活発な質疑や、実際にお茶をたてるワークショップも実施していただき、予定時間いっぱいまで多くの来場者と交流を楽しんでいた。



訪問交流プログラム

横浜藤本会

学 校

日 時 11月26日(月) 10:00~11:20

学 校 名 Colegio Municipal "Profesor Santiago Grisolia" (小学校)

交 流 場 所 小学校隣接の会館 交 流 対 象 小学生(4才~12才/幼児含む)200名×2回

横浜藤本会は、ご挨拶の後に日本の伝統的な曲の演奏と歌を数曲披露した。曲の最後に「幸せなら手をたたこう」を演奏し、小学生高学年の生徒たちといっしょに歌った。生徒たちは三味線についての質問をし、本物の三味線に触れる体験ができた。日本の伝統的な音楽に触れ、とても貴重で楽しい時間を過ごすことができた。



和太鼓 アンサンブル TOKARA

学 校

日 時 11月26日(月) 10:00~12:30

学 校 名 Colegio Municipal "Benimaclet" (小学校)

交 流 場 所 小学校の校庭 交 流 対 象 小学生(3才~12才/幼児含む)150名×2回

和太鼓アンサンブル TOKARA の力強い和太鼓の演奏が始まると、それまで騒いでいた生徒たちが静まり返り、演奏に集中した。生の響きを身体で感じ、要所所で掛け声をかけたり、手を叩いてリズムをとって演奏を心から楽しんだ。ワークショップも行われて生徒たちや先生は、和太鼓を叩く貴重な体験をし、学校全体でとても充実したプログラムとなった。



日 時 11月27日(火) 10:00~12:30

学 校 名 Colegio Educación Infantil y Primaria "Vicente Gaos" (小学校)

交 流 場 所 校庭 交 流 対 象 小学生(3才~11才/幼児含む)200名×2回

最初に校長先生からの説明、そして和太鼓アンサンブル TOKARA の挨拶、曲説明の後、数曲の大迫力の演奏を披露した。演奏の合間には、生徒たちへの呼びかけもあり、体を動かしたり、掛け声をかけたりして楽しんだ。ワークショップでは、たくさんの生徒たちが参加を希望したが、実際に太鼓をたたけないバチなしの生徒たちもたたく真似をして盛り上がった。後半には、ご父兄にも見に来ていただき、とても楽しい交流会となった。

京小町踊り子隊

学 校

日 時 11月26日(月) 10:00~12:00

学 校 名 Colegio Municipal "Fernando de los Rios" (小学校)

交 流 場 所 体育館 交 流 対 象 小学生(3才~12才/幼児含む)110名×2回

京小町踊り子隊は、音楽と共に扇子を用いた踊りや、子供向けにアニメソングを用いたノリのいい踊りなどを披露していただいた。そしてワークショップもその延長上で行われた。「今までで一番すばらしいショーだった。」という感想を述べる生徒たちもいた。アニメソングの選曲、キャラクターのお面をつけてのパフォーマンス、そして折り紙作品の配布など、生徒たちは大変楽しい時間を過ごした。



師勝太鼓「鼓っつ」

学 校

日 時 11月26日(月) 9:30~12:00

学 校 名 Colegio Gran Asociación (小学校)

交 流 場 所 学校中庭 交 流 対 象 小学生(6才~11才) 90名×2回

師勝太鼓「鼓っつ」は和太鼓を数曲パフォーマンスし、生徒たちとワークショップを楽しんだ。ワークショップでは順番で生徒たちが太鼓に触れて叩くことを体験し、見学していた生徒たちも輪になってそのリズムに合わせて踊って楽しみ、90名くらいの生徒たち全員が和太鼓に触れることができ、大変喜んでいただいた。とても和気あいあいとした楽しい交流会であった。



有福神楽保持者会

学 校

日 時 11月26日(月) 10:00~12:30

学 校 名 Colegio Educación Infantil y Primaria "Vicente Gaos" (小学校)

交 流 場 所 体育館 交 流 対 象 小学生(3才~11才/幼児含む) 200名×2回

有福神楽保持者会のパフォーマンスに、生徒たちと先生方はとても喜んでいました。特に大蛇が生徒たちに接近するシーンでは大歓声があがった。生徒たちにとって初めて体験した神楽のパフォーマンスは感動と驚きの連続であった。学校側からは、歓迎として生徒たちによる日本語での歌が披露され、記念品の贈呈も行われた。交流会は学校の生徒たちと先生方にとって、忘れられない思い出となった。



コールよこすか

学 校

日 時 11月27日(火) 10:00~12:30

学 校 名 Colegio Municipal "Benimaclet" (小学校)

交 流 場 所 小学校の校舎正面入口入ったスペース

交 流 対 象 小学生(8才~12才) 100名×2回

コールよこすかが数曲の日本の曲を合唱で披露した。その中で「あすという日が」という、生きることのすばらしさを伝える歌とともに、日本を襲った東日本大震災の話が伝えられ、生徒たちもその話を真剣に聞いていた。その後、スペインで歌い継がれている歌をコールよこすかはスペイン語で、生徒たちは日本語で日本の歌を歌い交流を深め、とても充実した時間を過ごした。



剣伎衆かむみ featuring 小林未都

学 校

日 時 11月28日(水) 10:00~12:30

学 校 名 Colegio Municipal "Profesor Santiago Grisolia" (小学校)

交 流 場 所 体育館 交 流 対 象 小学生(4才~12才/幼児含む) 220名×2回

剣伎衆かむみの登場で、「日本のサムライ」と、生徒たちは大興奮となり、殺陣のパフォーマンスとワークショップは、大変盛り上がった。アンコールの連続にも快くご披露いただいた。生徒たちはイベント終了後も握手や写真を求めて興奮が冷めない様子であった。

日 時 11月29日(木) 10:00~12:00

学 校 名 Colegio Gran Asociación (小学校)

交流場所 学校内カフェテリア 交流対象 小学生(6才~10才) 30名×2回

SHUHALLYは茶道や日本の作法について説明した後、お点前を披露した。また、生徒自身がお茶をたてるワークショップもしていただいた。生徒たちは、茶道に関するだけでなく、日本の文化や、日本の習慣で興味のあることについてたくさんの質問をした。そしてお茶とお菓子を楽しみ、とても充実した時間を過ごした。



早稲田大学書道会

日 時 11月29日(木) 10:00~12:00

学 校 名 Colegio Municipal "Fernando de los Rios" (小学校)

交流場所 体育館 交流対象 小学生(8才~12才) 50名×2回

早稲田大学書道会に手助けをしてもらいながら、生徒たちは、「愛」「友」「母」といった言葉や、自身の名前までも漢字にして書いた。教わった墨で書かれる文字に大変興奮した様子で、ほとんどの生徒たちは、その書いた書を自宅に持って帰ることを希望した。生徒たちおよび先生方は、この交流にとっても感激し、交流終了後の別れを惜しんだ。

太鼓衆 翔鼓

日 時 11月26日(月) 10:05~12:25

学 校 名 I.E.S. Baleares (高校)

交流場所 校庭 交流対象 中学生・高校生 175名×2回

太鼓衆 翔鼓は、曲説明をした後、数曲演奏を披露した。その後ワークショップを実施して楽しんでいただいた。生徒たちは質問をしたり、いっしょに写真撮影をした。大変楽しい時間を過ごすことができ、感謝の手紙を渡した生徒もいた。生徒たちにとって日本文化に興味をもつ大きなきっかけとなり、忘れられない思い出となった。



森久美子フラメンコ舞踊団

日 時 11月26日(月) 10:05~11:35

学 校 名 I.E.S. Benlliure (高校)

交流場所 学校内オーデトリウム 舞台付 交流対象 高校生(16~18才) 200名

森久美子フラメンコ舞踊団は、学校内のオーデトリウムに大勢集まった生徒達の前で踊りを披露し、その後見学していた生徒たちを取り込んでフラメンコのワークショップを実施した。参加者はフラメンコを通じて交流できるすばらしさを互いに分かち合いとても楽しい時間を過ごした。交流会終了後、校内の食堂にて軽食が振る舞われて思い出に残る交流のひとつときであった。

長沼静きもの学院 熊谷校

学 校

日 時 11月26日(月) 11:00~12:30

学 校 名 I.E.S. Juan de Garay (高校)

交 流 場 所 学校内「劇場」ステージ付 交 流 対 象 高校生(16~18才) 120名

長沼静きもの学院 熊谷校は、日本舞踊や着付けを舞台上で披露し、生徒たちは着付け体験や、一緒に踊る盆踊りも積極的に参加していただき、とても盛り上がった。最後に学校側から陶器、長沼静きもの学院 熊谷校様より浴衣のプレゼントがあった。学校側では今後、ミニ展覧会を開催したり、演劇に使用させていただきたいと、プレゼントの浴衣をととても喜んでいた。



林家染太

学 校

日 時 11月26日(月) 11:00~12:30 学 校 名 I.E.S. EL Grao (高校)

交 流 場 所 学校内オーデトリウム 交 流 対 象 高校生(16~18才) 100名

林家染太様は壇上に上がると、まずスペイン語で落語のルールについて説明し、英語落語に少しスペイン語を交えて2演目が披露された。その後、落語と南京玉すだれのワークショップを生徒達や教師を交えて実施した。落語の中では、三味線、紙切り、南京玉すだれをふんだんに使い、生徒達をととても惹きつけていた。短期間で学ばれたスペイン語はレベルが高く、またプロフェッショナルなコミュニケーションは大変すばらしく、ほほえみに満ちた交流会となった。

宝塚茶道同好会

老人ホーム

日 時 11月26日(月) 16:00~18:00

学 校 名 Cabanyal-Canyamelar Centre Municipal d'Activitats per a Persoas Majors (お年寄りのための地区センター)

交 流 場 所 施設内多目的ルーム 交 流 対 象 地区センターに通う60~80才 50名

最初に地区センターの会長より挨拶があり、そして宝塚茶道同好会より、日頃の活動、茶道についての説明をしていただき、2回のお点前を披露した。見学者にもお茶菓子が配られ、お茶がふるまわれた。その後、交流先からの女性はお点前を体験した。最後にはプレゼント交換があり、大変和やかな雰囲気での交流会であった。



瀬尾学園 総合カレッジ SEO<料理>

料理交流

日 時 11月24日(土) 9:00~13:30

学 校 名 Mercaco Central de Valencia (中央市場)

交 流 場 所 中央市場地下 調理室および談話室

交 流 対 象 CDT (調理学校シェフ) およびその関係者約40名

瀬尾学園 総合カレッジ SEO は、天ぷらとケーキのような美しいちらし寿司を調理した。バレンシアで有名シェフ Diego 氏(ジャパンウィーク® 料理交流担当)ら数名のスペイン側のシェフは、うなぎを使ったスペイン料理を調理した。見学に来た市民に対して双方がプレゼンテーションしながら交流を深めた。日本側の説明は日本食の知識が豊富な Diego 氏がきちんと説明していただき、とても充実した交流会となった。

スタジオ ぽこ・あ・ぽこ

舞踊交流

日時 11月26日(月) 12:00～14:00

学校名 Universidad Popular del Ayuntamiento de Valencia Malvarrosa (バレンシア市生涯学習センター)

交流場所 施設内多目的ルーム ステージ

交流対象 生涯学習センターで舞踊を学ぶ舞踊愛好家(約40名40～70才)+見学者

バレンシア市の生涯学習センターにて、スペイン舞踊を習っているグループの方々が民族衣装にてスタジオぽこ・あ・ぽこの皆様を見学の市民の皆様とともに歓迎した。互いに踊りを披露し、最後にはステップを教えながらダンスをし、お互いにとても打ちとけ合って写真を撮ったり、ボランティアを介して会話を楽しんだり、見学者も含めて会場の皆様が一体となり、とても笑顔あふれる交流会であった。



千葉伝統郷土料理研究会

料理交流

日時 11月26日(月) 10:00～20:00

学校名 CDT(Centre de Turisme) (調理学校・職業訓練校)

交流場所 CDT内実習室(キッチン) 交流対象 CDTの先生および生徒(約40名)

千葉伝統郷土料理研究会は、朝一番に中央市場にて食材を購入し、その後CDTに移動した。先生および生徒の前にて「太巻き祭りずし」の作り方を披露し、生徒たちに大変喜んでいただいた。その後施設内にあるレストランにて生徒たちが作った昼食がふるまわれた。午後からはCDTの先生方が3種類のバレンシアの郷土料理を調理し、とても充実した料理交流の1日を過ごした。

日時 11月27日(火) 12:00～13:00

学校名 Mercaco Central de Valencia (中央市場)

交流場所 中央市場内特設ステージ

交流対象 料理対決のシェフおよびバレンシア市民(市場を訪れたバレンシア市民約800名)

千葉伝統郷土料理研究会は、朝から中央市場にて食材を購入し、地下の調理室にてスペイン側シェフとともに互いの料理の下準備を始めた。中央市場内の特設ステージ周辺には席では足りずに、あふれんばかりの立ち見の見学者が押し寄せた。報道陣も集まる中、日本側は「太巻き祭りずし」の実演を、バレンシア側は「パエリア」の実演を披露した。バレンシアで著名な司会者がイベントを盛り上げ、最後の試食コーナーでは、特設ステージ周辺は一気に熱気に包まれた。この日の一連の料理交流についても、前日のCDT同様に、Diego氏には料理交流に大変貢献いただいた。





ムラタダンススタジオ

バレエ交流

日 時 11月26日(月) 17:30~19:00

学校名 Conservatorio Profesional de Danza (ダンス養成学院)

交流場所 学校内練習場 交流対象 ダンス養成学院の生徒10名(16~17才)

ムラタダンススタジオは、最初に16才のクラスを見学後、最高学年の17才のクラスを受講した。先生同士の意見交換し盛り上がった。ダンス養成学院側から、2曲のパフォーマンスが行われた。お互いに練習ができて忘れられないよき思い出の交流会となった。

まつさかチャレンジドプレイス 希望の園

福祉施設交流

日 時 11月26日(月) 10:30~17:00

学校名 Centre Ocupacional Municipal Juan de Garay (障がい者福祉施設)

交流場所 施設内アトリエ 交流対象 施設内知的障がい者(26~60才)12名

まつさかチャレンジドプレイス 希望の園は、いつも絵画作業をしている施設利用者とともに、カンバスとアクリルの絵の具を用いて一人ずつ作品を制作した。バレンシア市からも社会福祉担当幹部が交流の様子を見学した。お互いにこの絵画交流を心待ちにしており、当日は大変盛り上がった。交流後作品は「展示・実演会場」に展示され、後日会場を訪れた約70名の施設の皆様は大変うれしそうであった。



三重県

自治体交流

日 時 11月26日(月) 16:30~

学校名 Valencia Tourism Foundation (バレンシア市観光局)

交流場所 バレンシア市観光局内 会議室

交流対象 Mr. Jaume Mata (バレンシア市観光局副局長)、他 観光局職員

三重県はバレンシア市の観光政策についてブリーフィングを希望し、観光局副局長が面会した。三重県側は、観光名所を説明し、バレンシア側は、年間を通じて温暖な気候と地中海に面したリゾート地としてヨーロッパからの観光客が多い事や、また近年は都心部の再開発もすすめ、スポーツイベントや見本市の会場として注目を集めつつあることを説明した。その後、「三重観光大使」の「伊賀忍者」が忍者パフォーマンスを披露し、大いに盛り上がった。

草木染工房しかり

草木染交流

日 時 11月27日(火) 10:00~12:30

学校名 Universidad Popular del Ayuntamiento de Valencia Malvarrosa (バレンシア市生涯学習センター)

交流場所 施設内実習室

交流対象 生涯学習講座を受講している市民(約30名 30~80才)

草木染工房しかりより冒頭のご挨拶にて、「草木染め」という技法が、単に繊維に着色するという技術に留まらず、「染色には、古人の自然や健康にまつわる様々な知恵があり、私達は子孫に継承していかなければならない。」と述べられ、このメッセージが多く参加者の興味を掻きたてた。さまざまな染色ができる植物についての質問も続出し、とても活気のある交流となった。



西日本友好親善訪問団 交流プログラム

🌸 日本語を勉強しているバレンシアの方々との訪問交流会とバレンシア市内観光

日 時 11月23日(金)・26日(月)・28日(水)

場 所 各ホテル→バレンシア訪問交流会
→バレンシア市内観光

バレンシアに到着した翌日は、ジャパンウィークの目的のひとつでもある国際親善交流の機会として、日本語を勉強しているバレンシアの方々との訪問交流会を開催した。交流会では何故日本語に興味を持ったのか、勉強した日本語を今後どのように生かしていきたいかという点を切り口にしたスピーチに、訪問者一同興味深く聞き入った。スピーチの後は質問タイムとなり、日本とスペインの違いや、アニメや漫画といったサブカルチャーなどの話題も出て、あっという間の1時間30分が過ぎ去った。最後は参加各団体の代表がスピーチをしていただいたバレンシアの方々にお土産を手渡し、交流会は終了した。

交流会終了後は昼食レストランへ移動。地中海が望める海辺のレストランでバレンシアが発祥の名物パエリアを召し上がっていただいた後は、現地ガイドの案内のもとバレンシアの市内をバスで観光。バレンシアの新スポット「芸術・科学都市」や駅舎の造りが大変美しい近郊路線の発着駅「バレンシア・ノルド駅(中央駅)」、ゴシック・バロック・新古典様式が混在する町のシンボル「カテドラル」、商品取引所として建てられた世界遺産「ラ・ロンハ」など参加者の皆様は新旧が融合する美しいバレンシアの町並みに感銘を受けた。



🌸 バレンシアナイト

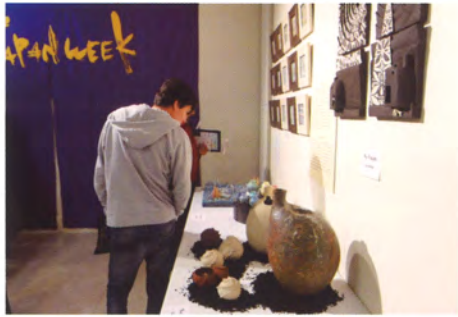
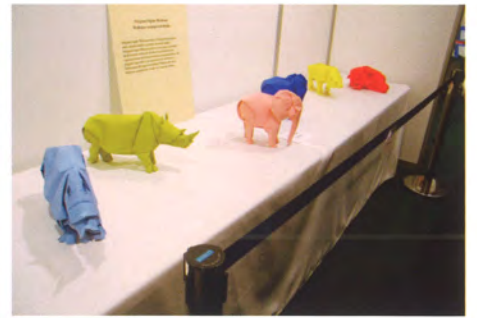
日 時 11月23日(金)・26日(月)

場 所 La Cartuja de Ara Christi

今回ご参加いただいた西日本友好親善訪問団の参加者に感謝の意を表するとともに、地元とのより一層の親善交流を図るため、バレンシア郊外に位置する昔の修道院を改修したパーティー施設「La Cartuja de Ara Christi」にて夕食会「バレンシアナイト」を開催。日本側は23日が丸尾和明氏/株式会社日本旅行代表取締役社長、26日が前中弘美氏/株式会社日本旅行取締役兼常務執行役員西日本営業本部長、スペイン側はJaume Mata氏/バレンシア市観光局副局長のご挨拶でバレンシアナイトが開始。参加者の皆様にスペイン郷土料理のコース料理をご堪能いただく一方、食事の合間には地元バレンシアの少年少女による合唱も披露され、特に最後の「ふるさと」の合唱は、異郷の地で聞く日本語の歌声が聴衆一同に大きな感動を与えた。そしてパーティー最後の締めくくりとして行われたフラメンコでは、会場中がその情熱的な踊りに魅了され、盛況のうちにバレンシアナイトはおひらきの時間となった。



現地参加団体



La ceremonia del té, artes marciales, gastronomía y un sinfín de exhibiciones de la vida y cultura nipona se darán cita en nuestra ciudad del 24 al 29 de noviembre.

Llega la Japan Week

El corazón de Japón se traslada a Valencia



Está considerado uno de los eventos culturales más importantes que existen en la actualidad. Con 36 ediciones celebradas con gran éxito, este año ha sido Valencia la ciudad designada como sede oficial de la Japan Week, superando en la final a la candidatura de la ciudad de Roma. Una cita ineludable para todos los interesados en adentrarse en la cultura nipona, ya que Japan Week pretende acercar las costumbres, el arte, la música, la cultura y el deporte de Japón a los valencianos. Las distintas muestras se celebrarán en la Plaza del Patriarca, El Palau de la Música, el Centro Cultural y Deportivo La Perxina o el Museo de la Ciudad, entre otros.



Exhibiciones y demostraciones

Más de mil japoneses se desplazarán desde su país de origen a nuestra ciudad para compartir con los valencianos este importante encuentro. La entrada es gratuita, tan sólo en algunas de las actividades habrá que pedir con antelación un ticket en el www.japanweek.com para reservar la entrada, ya que el aforo será limitado.

SHOWROOM VALENCIA está preparando un número especial dedicado a este magnífico evento con toda la información necesaria para seguirlo de cerca. *Mada*, estilo de vida, lugares de interés de nuestra ciudad, entrevistas a personajes importantes de Japan Week, son algunos de los contenidos del especial. A todos los visitantes japoneses que recibirán nuestra ciudad esos días, se le otorgará un Welcome Pack que llevará en su interior un ejemplar de la revista.

Valencia, la ciudad del sol naciente

La capital se llenará hasta el próximo jueves de actos gratuitos sobre la cultura nipona

Más de mil japoneses viajarán para participar en la Japan Week, que lleva 36 ediciones celebradas por todo el mundo

LA CITA

Del 24 al 29 de noviembre se darán cita los diferentes actos de la Japan Week 2012.

1.500

Japoneses llegan de forma especial a Valencia.

2 mill. €

es el impacto económico que se estima.

Integrar. Las muestras artísticas que se verán en Valencia abarcan todas las vertientes.



Más de mil japoneses viajarán para participar en la Japan Week, que lleva 36 ediciones celebradas por todo el mundo. Una fiesta del pueblo japonés que se celebra en Valencia en el mes de noviembre. La capital se llenará hasta el próximo jueves de actos gratuitos sobre la cultura nipona. Más de mil japoneses viajarán para participar en la Japan Week, que lleva 36 ediciones celebradas por todo el mundo.

Valencia llevará ya un año celebrando su cita con el arte japonés. En 2009 se hicieron los primeros contactos y hoy ya están aquí. Un pedacito de Japón ha desembarcado en Valencia.

La Japan Week es una iniciativa de una organización japonesa, la International Friendship Federation (IFF), que lleva 26 años facilitando a sus ciudadanos este evento. Valencia es la séptima ciudad del mundo que recibe a grupos de cultivadores y seguidores japoneses. La próxima será Poznań, en Polonia y la anterior fue Frankfurt (Alemania).

Península, mañana, Valencia se convierte en la ciudad del sol naciente. El día de mañana los japoneses van a desembarcar en la ciudad para ofrecer su cultura, para enseñar lo que saben hacer, desde aprender a hacer sushi o las linternas más sofisticadas y beligerantes con una época. De todo y para todos. Japón se abre a Valencia. Hace cinco años para que nosotros sólo usásemos un momento para ellos es una tradición que se convierte en arte. Todas las entradas para ver esta actividad se han agotado.

Todos los tickets que han conseguido prácticamente tanto en internet como en la Oficina de Turismo de Valencia en la plaza de la República.

JAPAN WEEK

Las entradas gratuitas se han terminado siempre a los pocos minutos de estar disponibles

Valencia llevaba dos años detrás de la organización de este evento del pueblo y para el pueblo

LOS ACTOS MÁS POPULARES

La ceremonia del té

1. Es uno de los actos más esperados y demandados por el público. El ritual del té verde "mucha" es una tradición ancestral. En un compendio de buenas maneras, armonía y belleza que desarrollan mujeres artistas, caligrafía nipona con sus majestuosos trajes tradicionales.



Un grupo de cocineros prepara un menú.

Artes marciales

3. Los muchos aficionados a estas especialidades deportivas están de enhorabuena. Se podrán contemplar y también practicar en talleres específicos con grandes maestros de especialidades como el Aikido, el Randori, el kumite, Arco y la Lanza.

Gastronomía

4. En uno de los actos más importantes de la cultura japonesa se comen los platos más deliciosos en un ritual y deleite. El Mercado Central y el CCF tendrán su espectáculo y en el Patriarca se podrá degustar comida del país asiático.

Espectáculos

5. En el Palau de la Música se podrá asistir a diferentes espectáculos que muestran parte de la cultura japonesa.

Actos para hoy

12-13.30 h. ▶ Exposición de los esposos en el Palau de la Música.
13-15 h. ▶ Artes marciales en La Perxina.
13.30 a 13.50 h. y de 17 a 20 h. ▶ Cultura japonesa en la Sala de Exposiciones del Palau de la Música: Teatro, música, arte floral, arco, kimono, pintura, cerámica.
13.30 a 13.50 h. y de 17 a 20 h. ▶ Ceremonia del té en el Vestíbulo de los Narajap. Palau de la Música en La Perxina.
13-14 h. ▶ Exhibición de aburajidos y Aikido en la Plaza Patriarca.
13-14 h. ▶ Taller de artes marciales en La Perxina.
13-20 h. ▶ Exhibición de artes marciales con participación de grupos valencianos en la Plaza Patriarca.
De 17 a 23 h. y de 18 a 19 h. ▶ Fiesta por el aniversario del Carmen del grupo de títulos japoneses Hanamata Ho Re.

Las clavas de su superiora

Concluido con la superiora. Escenas del Sagra. La religión japonesa. La cultura japonesa, visita la congregación religiosa católica a Aragón. Acompañados por la superiora, la superiora visita a la congregación religiosa católica a Aragón. Acompañados por la superiora, la superiora visita a la congregación religiosa católica a Aragón. Acompañados por la superiora, la superiora visita a la congregación religiosa católica a Aragón.

Otros actos del día

A las 10.00 h. se realizará una demostración de preparación de "sushi" japonesa por parte de un grupo de cocineros en la Plaza Patriarca. A cargo de la cocina japonesa de la ciudad de Valencia y la preparación en el restaurante.

Las «geishas» toman las calles de Valencia

La plaza del Patriarca acoge la ceremonia de inauguración de la Japan Week 2012 con actuaciones de música, teatro y danza. Cientos de personas recorren los puntos donde se desarrolla la primera jornada



Varias bailarinas danzan sobre el escenario y ondean cintas de colores.



La alcaldesa posa con varias participantes ataviadas y maquilladas al modo japonés.



Un músico con un acordeón.

Algunos de los actos más esperados y demandados por el público. El ritual del té verde "mucha" es una tradición ancestral. En un compendio de buenas maneras, armonía y belleza que desarrollan mujeres artistas, caligrafía nipona con sus majestuosos trajes tradicionales.

Los muchos aficionados a estas especialidades deportivas están de enhorabuena. Se podrán contemplar y también practicar en talleres específicos con grandes maestros de especialidades como el Aikido, el Randori, el kumite, Arco y la Lanza.

En uno de los actos más importantes de la cultura japonesa se comen los platos más deliciosos en un ritual y deleite. El Mercado Central y el CCF tendrán su espectáculo y en el Patriarca se podrá degustar comida del país asiático.

Actuación con bañerías y tambores.



Podremos ver performance de Artes Marciales, con exhibiciones de técnicas Ninja, Arco, Lanza, Bugei, Karate Katas equipos, Kumite, Kobudo, Randori y Aikido.

Las relaciones entre Japón y España tienen más de 450 años de historia, ya que comenzaron en 1549. De hecho, entre 2013 y 2014, nuestro país acogerá el "Año Dual Japón-España" y Valencia será el germen por donde empiece a consolidarse el nuevo vínculo entre estas dos culturas, alejadas geográficamente pero, con mucho en común; sus monumentos milenarios y sus espacios naturales únicos.

La ciudad de Valencia ha sido elegida como sede para albergar la 37 edición, superando en la final a la candidatura de la ciudad de Roma.



Trovadores japoneses que animaron ayer la inauguración de la Japan Week en la plaza del Patriarca de Valencia.

Valencia y Japón fusionan el turismo

Barberá busca mercados emergentes en la Japan Week

Barberá, durante la inauguración de la semana dedicada al país del Sol Naciente. Para la Japan Week además de unir tradiciones y cultura también aspira a fusionar el turismo valenciano y el japonés. Barberá destacó la importancia de que haya elegido Valencia para la trigésima séptima edición "porque proyecta nuestra ciudad a países con alta capacidad para hacer turismo". En esta búsqueda de nuevos mercados, no hay que olvidar que entre los asistentes a los actos se encuentran representantes de la Asociación Hispano Japonesa de Agentes de Viajes y de la compañía Japonesa Airlines, una oportunidad para conocer de la importancia de que Valencia sea escala obligatoria para el turismo nipón por España. De hecho, la consellera de Turismo, Ana Juehon, anunció ya el suí general de Japón en Barcelona, Takashi Fuchigami, que negociará paquetes turísticos japoneses. La Japan Week ha concentrado en Valencia a 1.500 japoneses que se han desplazado 10.000 kilómetros para participar en un evento que tendrá un impacto de dos millones de euros, dijo Barberá.



Barberá, en el acto de inauguración.



La exhibición en el complejo la Petxina. :: EFE/JUAN CARLOS CÁRDENAS

La Japan Week acerca las artes marciales y la ceremonia del té

La cultura japonesa impregna Valencia por segundo día

La primera edición de la Japan Week arrancó ayer su segunda jornada con exhibiciones de

artes marciales, exposiciones y la iniciación a los valencianos en la ceremonia del té. La presidenta del Palau de la Mú-

sica, Mayrén Beneyto, asistió a la inauguración de las exposiciones que acoge el enclave con motivo de la semana japonesa, entre las que destaca una exposición de las mejores obras de 'modern art' de Kyoko Tamai, una zona dedicada al arpa japonesa, otra que invita a descubrir el arte del kimono o una exposición sobre las técnicas de pintura tradicionales japonesas. Posteriormente, dio comienzo la ceremonia del té, un ritual imprescindible en la cultura japonesa.

Asimismo, en el Centro Cultural la Petxina tuvieron lugar exhibiciones de artes marciales como kyūdō (arco), yari (lanza japonesa), tiro con arco, yudo, artes ninja, bugei, karate y aikidō. Durante el resto de la jornada se pudo admirar pasacalles del grupo de trovadores japoneses Hamamatsu Hanatoyutin

Desde hoy y hasta el jueves se realizarán iniciativas de intercambio cultural entre alumnos de colegios municipales, institutos, centros de mayores, la universidad popular, centros ocupacionales municipales y grupos provenientes de Japón.

«Ser ninja es el gran tesoro que me ha dejado mi padre»

La Japan Week 2012 muestra en Valencia el arte de los guerreros espías, cuya centenaria tradición se traspa a través de la familia

JOSÉ PARRILLA VALENCIA

«Cuando alguien piensa en un «ninja» le viene a la cabeza un luchador oriental, vestido de negro, rápido, misterioso, que lanza estrellas y desaparece tras un bombo de humo. Y eso es exactamente un ninja, aunque detrás de estos mitos conocidos en Occidente por el cine y el cómic, hay cientos de años de tradición que viven y perduran en las provincias de Ja-

Las armas de un ninja son las estrellas y su pequeña hoz, pero el objetivo es escapar sin necesidad de iniciar la lucha

«espías» cuya misión es recoger información y salir con vida cuando son descubiertos». Su medio natural son los tejados y en su lucha, camuflaje o desaparición utilizan cualquier medio a su alcance: ropa, humo y en caso extremo sus armas, que son las famosas estrellas y una «pequeña hoz» que recuerda, según explica, que la mayoría de sus antepasados «eran gente de campo».

«Nuestro objetivo siempre es escapar. Si luchas y te matan, la valiosa información que tienes no llega a su destino, pero el ninja siempre piensa en ganar sin luchar», explica Ukita, quien asegura que al desaparecer es imposible, no lo es «hacerse» o simplemente que no te vean». La época dorada de los guerreros ninjas se sitúa entre el 1200 y 1600. Una guerra que tuvo lugar



Tamonosuke Ukita ayer en el Palau de la Música. J. VALENCIA

en 1600 es una de las últimas en las que participaron y desde entonces, a más paz, menos necesarios se fueron haciendo. Ahora su técnica ya no tiene una utilidad práctica, pero el «Ninjutsu», que es la lucha y arte escapista del ninja, se sigue enseñando para promocionarlo y evitar que se pierda. En su provincia sólo hay cuatro ninjas contándo-

lo a él, porque «aunque hay muchos otros de sangre, son muy pocos los que lo practican», dice. Personalmente, Tamonosuke Ukita se siente muy orgulloso de su condición. «Para mí es un regalo, es el tesoro que me ha dejado mi padre y eso lo llevo en el corazón. Le doy gracias a mi padre por haberme pasado esta tradición», afirma.



CULTURA

La música y caligrafía japonesa convencen a los valencianos

La Japan Week sigue acaparando la atención de los valencianos. Ayer continuaron los talleres de caligrafía nipona en el Palau de la Música. Por la tarde, la plaza del Patriarca de Turia acogió los conciertos de Kevin, artista valenciano que interpreta canciones de pop en japonés, y de Eliat, grupo valenciano de pop-rock electrónico finalista del concurso Vinilo Valencia 4.0.

Barberá aprovecha la Japan Week para contactar con inversores nipones

Turismo e infraestructuras, principales sectores de interés para la capital

R. R.

VALENCIA. La cultura no está relacionada con los negocios, ha debido pensar la alcaldesa de Valencia, Rita Barberá, quien ha aprovechado la celebración estos días de la Japan Week para mantener contactos con algunos empresarios nipones interesados en invertir en la capital. «Está siendo una semana muy fructífera», declara al tiempo que confía en que esta cita marque «un antes y un después» y se abran muchos caminos, «no sólo en el mundo de la cultura sino también en otros aspectos económicos y sociales».

Así, confesó que su máximo interés por hablar con la primera empresa privada de ferrocarriles en Japón, cuyos directivos se encuentran en Valencia en viaje de incentivos. «No quiere decir que lo hayamos conseguido, pero está la oportunidad igual que está el tercer mayor operador de turismo con quien comemos junto al embajador, Satoru Satoh, el pasado sábado».

La primera edil, que anoche recibió el premio que la revista Ejecutivos le ha concedido a su trayectoria profesional, ejerció por la mañana de anfitriona en el Cap i Casal, donde recibió a un grupo de samuráis, a los representantes de una compañía de teatro y a los japoneses que cada día muestran al público valenciano la cere-



La alcaldesa saluda a los miembros de The Samurai Sword Artists Kami

monia del té. Los primeros, encabezados por Tetsuro Shimaguchi, el instructor de la película Kill Bill de Quentin Tarantino, mostraron su habilidad con diferentes tipos de armas, mientras que los actores

regalaron a la alcaldesa un papiro con el símbolo japonés de la palabra «amor».

Paralelamente al encuentro, el Mercado Central acogió una jornada gastronómica en la que se daba cita la cocina más tradicional. Allí, la paella japonesa estrecharon lazos en una exhibición seguida por decenas de curiosos. El encargado de mostrar el

«No puede irse de rositas»

El presidente catalán en funciones, Artur Mas, debería dimitir por su torpezas a la hora de convocar unas elecciones que le han llevado a un ridículo internacional, que le ha supuesto a su vez un rotundo fracaso personal. Así valoró ayer Barberá los resultados de unos comicios que sólo han servido para ocultar la gestión de la crisis. Mas se ha alimentado al nacionalismo más radical (...). No puede irse de rositas, hay que exigir responsabilidades ante el enorme lío que ha creado.

secretos del plato local fue prestigioso cocinero Rafael Vidal, que completó con el grupo de Estudio de Cocina Tradicional de la región japonesa de Chiba, que mostró al público el popular Futomaki sushi, típico marjar grande con forma cilíndrica, habitual en muchas ceremonias niponas.

En otro orden de cosas, Barberá espera que el PAM del Parque Central se incluya en el próximo pleno municipal.

Japan Week' trae a más de iristas nipones

llega hasta el jueves eventos os y culturales de Japón

Valencia retiró esta sepe de ir de in Oriente y clativa en la sironía ja- espacios púes culturales os conocen la inaugura- de la Japan entarían di- ales y de dan- zara» la alcaldesa ri, y el emba- ña, Satoru , Valencia se Japón en un des niponas

impulsan anualmente en una ciudad del mundo desde hace 26 años, y en esta ocasión la capital valenciana recoge el testigo de Fráncfort tras imponerse a Roma para albergar la 37ª edición. La alcaldesa de Valencia, Rita Barberá, destacó la importancia de la elección, ya que permitirá a esta ciudad «proyectarse al mundo» y a países «con fortaleza económica y con alta capacidad para hacer turismo», y destacó que el objetivo es «fidelizar» la «presencia del visitante de oriente lejano en nuestra ciudad». Barberá indicó que cerca de 1.500 japoneses participan en un evento con un impacto económico de dos millones.



Decenas de personas contemplan la actuación inaugural de la Japan Week, ayer en Valencia. J. BENITO PARRILLA



CULTURA

El arte valenciano da la bienvenida a la delicadeza japonesa

Artistas japoneses con discapacidad intelectual participaron ayer en un intercambio de experiencias plásticas con alumnos de pintura del centro ocupacional Juan de Garay, en el marco de la 37ª edición de la Japan Week, que se celebra en Valencia hasta el jueves. Además, enmarcado en la celebración de este encuentro internacional, el Palau de la Música acoge todos los días una demostración de la ceremonia del té.

EXHIBICIÓN DE COCINA NIPONA Y VALENCIANA

El Mercado Central acogió ayer dos espectáculos de cocina en directo organizados por el Ayuntamiento y Mercavalencia en el marco de la Japan Week: paella valenciana y un tipo de sushi muy especial de la región japonesa de Chiba.

Las mejores imágenes del día, y más fotogalerías, en... 20minutos.es





24日は、舞台リハーサルや現地の料理学校との交流後、夕方に歓迎レセプションが市街地の宮殿で行われました。ステンドグラスやタイル張りの壁が目立ち、荘厳な建物で、民族衣装を着た人たちが演奏と踊りで私たちを歓迎

「はぐら」披露

24日は、舞台リハーサルや現地の料理学校との交流後、夕方に歓迎レセプションが市街地の宮殿で行われました。ステンドグラスやタイル張りの壁が目立ち、荘厳な建物で、民族衣装を着た人たちが演奏と踊りで私たちを歓迎

日本文化に熱い視線



楽曲の紹介コーナー。現地の人々から、楽器や演奏法について質問が相次いだ。スペイン・バレンシア市

5部門で発表・展示

25日は、音楽堂で生け花と着付け、料理、箏曲の展示発表。日本舞踊の5部門でステージ発表と展示を行いました。



現地で記念撮影する総合カレッジSEOの参加者

スペイン・ジャパンウィークに参加して

瀬尾学園楽曲講師 茂七美



ジャパンウィークは、海外の方に日本を知ってもらうと、国際親善協会東京が1986年から行っているイベントです。2013年は、スペインと日本の交流が始まってからちょうど40年に当たります。今回は日本から45団体941人が参加しました。

余韻に浸る間もなく、夜9時から宮殿近くの音楽堂で舞台発表の本番です。「KAWAII」「祭花」「永遠の恋」を等と十七弦で演奏しました。

私たちの前に登場したものは、富山のチンドンコンクールにも出場したことがある、静岡のチンドンのグループです。静動の対比が良かったので、スペインの人たちから大きな拍手をいただきました。

料理は巻き寿司と、藤の花をかたどった勝負司を作りました。

着付けは、蛇の列ができるほどの人気でした。体験した人は着物の自分自身を撮影し、満足する表情を浮かべています。

生け花は、フラワーアレンジメントとの違いをわかってもらえ、また工夫を凝らした。初めに花器だけを置き、順に花を添えて出来上がる様子を見てもらいました。

5部門で発表・展示

箏曲の紹介コーナーでは、箏爪や楽譜に興味津々です。箏の材質は何か、持って演奏はできるのか、どこから音が出るのかなど、次々と質問が寄せられました。小学2年の長男・幹樹も一緒に参加し、演奏や楽譜のプレゼントをするなど、一生懸命、箏について紹介していました。

スペインは財政危機と報道されており、訪問するまでは不安でした。でも、街は明るく、人々は素朴で温かく、楽しい交流ができました。日本から花器や箏の輸送、現地での生花の調達など苦労も多かったのですが、思い出に残る旅となりました。

*北日本新聞 2013年2月8日号より

(平成5年7月19日第3種郵便物認可)

(日刊) わかやま新報

スペインで和風タツプ

ぽこ・あ・ぽこが国際交流



スペインで踊りを通じ交流した田中代表（前列右から3人目）ら

の子守唄「YAP PA 紀州」など、和歌山にちなんだ楽曲で和風タツプを披露。ポーズが決まるたびに、大きな拍手が送られた。

スペイン側は、カスターネットを打ち鳴らしながら、伝統舞踊を紹介。ワークシヨップでは田中代表(48)も主に足の動きを教わり、見よう見まねでステップ。「筋がいい」との言葉をももらったという。

メンバーは日本から持参した鳴子と折り鶴をプレゼント。スペイン語で紹介された和歌山の観光パンフレットも配った。田中代表は「参加加するたびに、言葉は通じなくても一緒に踊れることは強みだと感じます。メンバーも「タツプダンスが、もっと好きになった」と言うほ

「ま」と笑顔で話していた。県内からは同教室の他、森久美子フラメンコ舞踊団も参加した。

岩出市南大池にある唯一のタツプダンス教室「スタジオ」の魅力を紹介します。地元を巡っている。今回は全国から45団体が出場。同教室の参加はことごと6度目と

は、国際親善協会が主催する国際交流イベント。日本の文化を紹介することも、開催地住民も愛好家ら20人の前で「ま」と笑顔で話していた。県内からは同教室の他、森久美子フラメンコ舞踊団も参加した。

岩出市南大池にある唯一のタツプダンス教室「スタジオ」の魅力を紹介します。地元を巡っている。今回は全国から45団体が出場。同教室の参加はことごと6度目と

は、国際親善協会が主催する国際交流イベント。日本の文化を紹介することも、開催地住民も愛好家ら20人の前で「ま」と笑顔で話していた。県内からは同教室の他、森久美子フラメンコ舞踊団も参加した。

岩出市南大池にある唯一のタツプダンス教室「スタジオ」の魅力を紹介します。地元を巡っている。今回は全国から45団体が出場。同教室の参加はことごと6度目と

は、国際親善協会が主催する国際交流イベント。日本の文化を紹介することも、開催地住民も愛好家ら20人の前で「ま」と笑顔で話していた。県内からは同教室の他、森久美子フラメンコ舞踊団も参加した。

岩出市南大池にある唯一のタツプダンス教室「スタジオ」の魅力を紹介します。地元を巡っている。今回は全国から45団体が出場。同教室の参加はことごと6度目と

は、国際親善協会が主催する国際交流イベント。日本の文化を紹介することも、開催地住民も愛好家ら20人の前で「ま」と笑顔で話していた。県内からは同教室の他、森久美子フラメンコ舞踊団も参加した。

岩出市南大池にある唯一のタツプダンス教室「スタジオ」の魅力を紹介します。地元を巡っている。今回は全国から45団体が出場。同教室の参加はことごと6度目と

は、国際親善協会が主催する国際交流イベント。日本の文化を紹介することも、開催地住民も愛好家ら20人の前で「ま」と笑顔で話していた。県内からは同教室の他、森久美子フラメンコ舞踊団も参加した。

岩出市南大池にある唯一のタツプダンス教室「スタジオ」の魅力を紹介します。地元を巡っている。今回は全国から45団体が出場。同教室の参加はことごと6度目と

は、国際親善協会が主催する国際交流イベント。日本の文化を紹介することも、開催地住民も愛好家ら20人の前で「ま」と笑顔で話していた。県内からは同教室の他、森久美子フラメンコ舞踊団も参加した。

岩出市南大池にある唯一のタツプダンス教室「スタジオ」の魅力を紹介します。地元を巡っている。今回は全国から45団体が出場。同教室の参加はことごと6度目と

は、国際親善協会が主催する国際交流イベント。日本の文化を紹介することも、開催地住民も愛好家ら20人の前で「ま」と笑顔で話していた。県内からは同教室の他、森久美子フラメンコ舞踊団も参加した。

*日刊わかやま新報 2012年12月15日号より



JAPAN WEEK 2012 VALENCIA, 24-29 NOVIEMBRE
 ジャパンウィーク2012:バレンシア 11月24～29日

www.japanweek2012.es

Entrada libre / Free entrance



編集後記

今回のジャパンウィーク®開催にあたり、バレンシア市側関係者並びに実行委員会の熱心な受入の協力を感謝申し上げます。またジャパンウィーク®運営を支えてくれた在スペイン日本国大使館、在バルセロナ日本国総領事館、バレンシア市観光局そして日本においてはスペイン政府観光局の皆様へ厚く御礼申し上げます。

わけても昼夜を問わず共にこの運営に携わっていただいた現地コーディネーターそしてジャパンウィーク®の主旨にご賛同いただき、お忙しい中にも関わらずアシスタントスタッフやボランティアとして携わっていただいた皆様、そして有形無形でご支援いただいた

関係者の方々のご協力なくして無事終了する事は出来ませんでした。ここに深く感謝申し上げます。

そして日本全国各地からジャパンウィーク®の趣旨にご賛同いただき、日本・スペインで草の根レベルの国際交流に参加された皆様へ厚く御礼申し上げます。

今後も、真摯な相互理解・異文化理解の輪を広げて、世界が心一つになれることにジャパンウィーク®を通じて貢献できれば幸いです。皆様方のご支援・ご協力を引き続きお願い申し上げます。



助 成



公益財団法人 双日国際交流財団

主 催



公益財団法人 国際親善協会

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-4 鴨原ビル 3 階

TEL : 03-5802-0351 FAX : 03-5802-0353

E-mail info@iffjapan.or.jp

URL http://www.iffjapan.or.jp